

就職氷河期世代の方々への支援については、安定的な財源の下で関係者が安心して取り組めるよう、就職氷河期世代支援に関する行動計画2019（令和元年12月23日就職氷河期世代に関する関係府省会議決定）において、令和元年度補正予算を含め、「3年間で650億円を上回る財源を確保する」との方針を示している（令和元年度補正予算66億円、令和2年度予算199億円）。令和3年度概算要求では、令和2年度当初予算を上回る249億円（+ **緊要**）を要求し、就職氷河期世代の方々への支援を拡充。ウズコロナ時代に対応するため、オンライン等の対面によらない形での支援を促進。

**緊要** …… 新型コロナウイルス感染症への対応など緊要な経費として、別途要望（事項要求）している施策である。

## 1 相談、教育訓練から就職、定着まで切れ目のない支援 94.6億円（75.6億円）

### ○きめ細かな伴走支援型の就職相談・定着支援体制の確立

- ・ハローワークにおける専門窓口の拡充、担当者によるチーム支援の実施  
16.6億円（14.9億円）

### ○受けやすく、即効性のあるリカレント教育の確立(出口一体型)

- ・業界団体等による短期間での資格取得・正社員就職の支援等  
34.7億円（34.7億円）

### ○採用企業側の受入機会の増加につながる環境整備

- ・特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）  
14.3億円（13.0億円）
- ・社会人インターンシップ推進のための調査 0.1億円

### ○民間ノウハウの活用

- ・民間事業者のノウハウを活かした不安定就労者の就職・定着支援  
28.9億円（13.0億円）

## 2 個々人の状況に合わせた、より丁寧な寄り添い支援 108.7億円 + **緊要**（109.7億円）

### ○アウトリーチの展開

- ・アウトリーチ等の充実による自立相談支援機関の機能強化  
31.7億円（31.7億円）
- ・ひきこもりに関する地域社会に向けた普及啓発と情報発信の実施 **緊要**
- ・地域若者サポートステーションにおける就職氷河期世代の無業者の支援  
52億円（53億円）

### ○支援の輪の拡大

- ・ひきこもり地域支援センターと自立相談支援機関の連携強化及び地域におけるひきこもり支援の充実  
11.5億円（11.5億円） + **緊要**
- ・ひきこもり支援に携わる人材の養成研修 1.2億円（1.2億円） + **緊要**
- ・地域における就労体験・就労訓練先の開拓・マッチング  
3.3億円（3.3億円） + **緊要**
- ・就労準備支援事業等の広域的实施による実施体制の整備促進  
5.8億円（5.8億円）
- ・農業分野等との連携強化モデル事業の実施 1.0億円（1.0億円） + **緊要**
- ・技能修得期間における生活福祉資金貸付の推進 2.2億円（2.2億円）

### 3 プラットフォームを核とした新たな連携の推進

43.1億円+ **緊要** (12.3億円)

#### ○関係者で構成するプラットフォームの形成・活用

- ・就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム等  
0.03億円(0.03億円)
- ・就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援  
5.0億円(4.2億円)
- ・就職支援コーディネーター(人材開発支援分)の配置 8.1億円(8.1億円)
- ・都道府県による市町村プラットフォーム設置・運営の支援 **緊要**

#### ○地域における就職氷河期世代の先進的・積極的な取組への支援

- ・地域就職氷河期世代支援加速化交付金 30.0億円

### 4 その他の取組 2.2億円(1.4億円)

#### ○一人一人につながる戦略的な広報の展開

- ・就職氷河期世代等に対する積極的な広報の実施 1.4億円(1.4億円)

#### ○その他関連施策

- ・国家公務員中途採用者選考試験(就職氷河期世代)の実施 0.8億円

上記のほか、就職氷河期世代に関連する施策(内数表記となっている施策)も含めた合計額は、1,361億円程度+(1,209億円程度)である。

**緊要**